

## 橋本市民病院を受診された患者さまへ

当院では、下記の臨床研究を実施しています。本研究の対象者に研究等への参加をお願いすることがありますので、ご協力よろしくお願いします。

研究課題名	脳血管内治療におけるNBCAの使用について
研究担当者	橋本市民病院 脳神経外科 吉村 良
目的・概要	<p>NBCA (n-butyl cyanoacrylate)はNaClと重合反応を起こし固体化する液体塞栓物質である。本邦では消化器内視鏡下での止血などに広く用いられており、脳血管内治療でも広く用いられてはいるが、保険適応はない。対象疾患は脳・脊髄動静脈奇形、硬膜動静脈瘻、慢性硬膜下血腫、栄養血管の豊富な脳腫瘍、外傷による出血性疾患などが代表的である。同様の液体塞栓物質にOnyxが本邦で保険認可を受けているが、適応は「開頭術による摘出前の脳動静脈奇形に対する塞栓」と限られたものとなっており、また塞栓物質の挙動が異なるため症例により使い分けているという現状がある。他の塞栓物質としてはプラチナ製のコイル、硬膜外についてはEmbosphereという粒子状塞栓物質があり、対象となる血管径および血管構築像により最適の塞栓物質を選択して使用している現状がある。高い塞栓率を達成する上で必須の物質であるため、今回倫理審査として申請する。</p>
研究対象 実施機関 実施場所等	適応ありと判断された脳神経外科症例、脳血管撮影室で施行。
研究期間	2019年1月17日～
研究等における倫理的配慮、人権擁護及び個人情報保護の保護等	一般の手術症例と同様の配慮を行う。
備考	